

東京文京学習センタークラス会について

1. クラス会の目的

遠隔教育を基調とする放送大学は、学びの主体は放送であり、通学制大学と比較し、同年度の入学生が同じ教室で一緒に学ぶ機会は少なく、学生相互の連帯が希薄的傾向にある。そのため、放送授業の学びに際し、授業内容に関する情報が過疎な状態になりやすく、概して孤立感を生じやすい。

また、放送大学は、極めて広範な年代と社会経験を有する学生の集まりであり、どのような科目を単位取得すべきかが学生に任せられている割合が大きい。放送大学では、自分自身で学ぶ内容の取捨選択を求められ、これはなかなか困難だと思われる。

このように、いくらかでも新入学生の悩みを解決へと目指した先行の愛知学習センターでは、数年前から「入学年次別クラス会」を組織し、学習計画の作成や単位認定試験、面接授業、卒業研究、ゼミなど修学に係わる情報や意見をフランクに交換する場として試みている。

当東京文京学習センターにおいても、このクラス会組織の有効性に着目し、平成 27 年度 4 月からクラス会を実施した。主な活動は、新入学した学生がヨコのつながりで学友・仲間づくり、学習意欲のモチベーションを維持しながら、放送大学での学びに順応していく交流の場の実現と捉え、学位取得して卒業にいたる学生の割合を増やすことが大きな目標である。

2. クラス会の参加者

同年度入学の全科履修生が構成の基本であるが、科目履修生、選科履修生の希望参加者も受け入れる。

3. クラス会の組織構造（裏面・組織図を参照）

クラス会の運営により企画員を設ける。企画員の中から、代表、副代表および書記を選出。学習センターとの連絡窓口は代表が行う。2 学期制である放送大学は、1 学期クラス会と 2 学期クラス会が別々に誕生するが、翌年 2 月開催の 1、2 学期合同クラス会を、年次クラス会とする。クラス会誕生時期の関係により、第 1 学期から代表、第 1、2 学期から数名の副代表の選出が望ましい。

4. 活動内容

クラス会は会の目的を達成するため、以下の内容に関わる意見や情報交換などの機会を設けている。

- ・学習計画に関すること
- ・授業内容や科目選択に関すること
- ・単位認定試験に関すること
- ・大学院進学に関すること
- ・大学生活に関すること
- ・会の運営や会則に関すること etc

5. クラス会の開催時期と回数

入学初年度は、3 回程度の開催とする（年次）。内訳：2 回は入学期単位で、同一年度入学者で 1 回（年度末）。2 年目以降は、複数入学年度合同で 1 回の開催とする。

初回の開催は、入学後約 2 か月時点で、入学の動機や期待、学習方法の疑問点やヒントを得る場とする。

2 年目以降は、多様な学び方（放送、オンライン、面接など）の意見交換や、所属コースを超えた分かち合い、さらに卒業研究や卒業後の大学院進学、他コース再入学の準備など、今後の学生生活を語り合う有意な場となっている。

(2020.4.5)

裏面もご覧ください

クラス会の運営体制

クラス会支援委員会

- クラス会広報
- 大学への要請(教員出席者・日程案内出欠メール)
- 機関誌「文京通信」
- 企画員の微調整

東京文京学習センター

- 年次(前期・後期)ごとの名簿管理
- 会員へ案内出欠メール配信・集計

協同作業

クラス会会議

- 関連資料物(一例)
 - 会議議事録
 - チラシ&ポスター
 - 入会登録票
 - タイム・スケジュール
 - 教員紹介
 - アンケートほか

企画員(年次)

新入生有志から数十名：
企画員(前・後期とも)
企画員から：代表・副代表
(支援委員会・総務係との連絡)



東京文京学習センターで 初めての「クラス会」がスタート!



スタートした「クラス会」

5月31日、東京文京学習センターで、4月入学の全科履修生を対象とした「クラス会」が催されました。放送大学は通信制の大学のため、自分のペースで目的に沿った学びができますが、学生同士が交流する機会が少なく、学びについて不安や悩みを感じる学生が多くいます。そこで、同じ時期に入学した学生が無事に卒業できるよう学生同士のつながりを深め、学びに関する不安や悩みを相談したり、意見交換が出来る場としてこのクラス会が企画されました。

参加者からは「不安が多くて分からないことも多かったので参加して良かった」、「今日は知り合いの方が出来たので、今後この輪を拡げていきたいと思います」、「卒論のことで悩んでいたのですが、進め方やテーマの決め方など、次のステップに繋がる事が出来ました」といった意見を聞くことができました。



づくりの場になったらと。クラス会を活かす色々なアイデアが芽生えることに期待したいと思います。」



岡部学長が応援に駆けつけました

「ぜひこういう会を積極的に利用して、お友達を作って頂きたい。クラス会はそういう役割が大きいのではないかと思います。学歌を歌ってみると『“見えない友と”』…



岡部洋学長

と言う言葉があります。クラス会に参加することで、この“見えない友”がどこかにいるということがリアルに感じられるようになります。それが勉強を強くプロモートするのです。」



「クラス会」の今後



東京文京学習センターでは、愛知学習センターで2009年から行われているクラス会を参考に半年前から準備を進めてきました。動き出した新入生のためのクラス会。目指すのは、学生自身の手で作って行くクラス会です。4月入学のクラス会は今年度中にとあと3回開催されることになっており、来年2月予定の4回目の会合では、10月入学生によって組織されるクラス会と合同で実施される予定です。

今後、クラス会は学期毎に誕生してゆく予定で、学生同士の輪をさらに広げてゆきます。

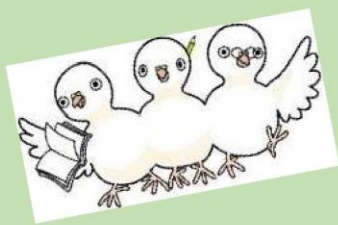
中村由美さん



クラス会支援委員長 中村 由美さん



「岡野所長から“文京で初めて、横の繋がりを作るクラス会を企画したい”というお話を頂いたのが昨秋です。その話を聞いて、とても賛同しました。最初の段階は、クラス会支援委員会も伴走者のように寄り添います。私の感覚では、知的好奇心を刺激し合う学友



東京文京学習センター クラス会に参加した学友から 新入学生へメッセージ



わたしとクラス会

学友の皆さん、はじめまして。私は2017年4月から化学系技術職に就き、仕事に必要な知識や教養をより深く学びたいという思いから、同年10月から放送大学に入学した者です。出席した「第2学期入学者の集い」で、案内されたクラス会に興味を持ち、すぐに入会登録の手続きをしました。

元々人と交流するのが好きで、ワクワクする気持ちと少しの緊張感のなかで、入学の翌月に開催されると聞いた「17年度クラス会」に初めて参加しました。フランクな雰囲気の中で、参加された皆さんと情報交換や勉強方法の話し合いがあっという間に過ぎました。楽しい時間を惜しみつつ、次回も参加する思いでいたるところ、企画員の募集を知り、私も企画や運営に携わりたい気持ちが芽生え、企画員となりました。

クラス会の準備、例えば、クラス会ポスターの作成や、当日の運営まで企画員の皆さんと携わっています。そんな企画員同士のやり取りもクラス会と同じように楽しく、会議やクラス会の当日を毎回心待ちにしています。

通信制大学という人との繋がりが不足しがちな環境で、クラス会の際は会社の中だけではなかなか出会えない様々な方たちと交流することができ、私自身大きな刺激となっています。

同じ年度に入学した学生同士が交流できるクラス会は貴重な存在だと思います。孤独になりがちな学生生活をクラス会に参加することで明るく楽しく変えてみませんか？今でも新しい情報に触れ、学業に励む気持ちでいられるのも魅力のひとつです。

(科目履修生から社会と産業コースに変更 東海林 様)

クラス会に参加して

習得したい専攻がパソコンで自宅学習できるということで放送大学に入学しました。そして、面接授業（スクーリング）もあることを知っていましたが、主に自宅学習になると思い、同期の学友と知り合おうという意識はありませんでした。

出席した「入学者の集い」で、その年度から新しくスタートするクラス会の説明があり、何か参考になるかもしれない程度の気楽な気持ちでクラス会に参加しました。

第1回目のクラス会では、所属コース別に班に分かれてファシリテーターの進行で、自己紹介からはじまり、入学した目的や趣味などを紹介し合いました。10数名くらいのグループだったと思います。そのときのメンバーとは、今もメールを通して情報交換をしています。私はグループの連絡係になりましたが、その後企画員と名称が変わり、現在もクラス会企画運営のお手伝いをしています。クラス会のメリットは、学習の方法や科目の取り方、面接授業の内容、資格取得、学友の体験談を気軽に聞けることだと思います。そして、何より共に学ぶ学友と知り合えることではないでしょうか。皆さんも、クラス会を活用して放送大学の生活を楽しんでください。

(心理と教育コース 斉藤 様)

裏面もご覧ください

クラス会と大学生活

2015年5月の第1回目が、私と「クラス会」の最初の出会いでした。当初から企画員（旧連絡担当者）となり、現在に至っています。割合飽きっぽい傾向があると認知している自分が続いているのは、開催準備の打ち合せを重ねた内容が、実際のクラス会で、参加した方々と楽しく分かち合っている手応えが、その所以だと思っています。

入学時に描いていた通信制の味気ない大学生活が、学友と語らうことによって、生き生きと変化してきたのもクラス会の恩恵です。

これから参加される皆様が、新たな思考と熱意をもって有効活用して下さることが、持続可能なクラス会に展開していくものと考えています。

クラス会でお会いしましょう。

（人間と文化コース 佐藤 様）

文京キャンパス・クラス会について

私は技術屋として勤務していた頃から、地球や宇宙を含む自然科学が好きで、いつかはしっかりと学びたいと思っていました。2015年春の退職をきっかけに、夫婦2人で放送大学の後期に入学しました。私は「自然と環境コース」です。しかし、妻という近しい学友がいる私でさえ、授業科目の選び方や、放送大学での学び方を自分で考えなければならず、ひとり孤独を感じたものでした。そんな折、ほんの軽い気持ちで、2人で「クラス会」に出席し、若い方から高齢の方という多様な方々が、それぞれの動機で入学されているのを知って大いに刺激を受けました。2人で企画員にもなり、クラス会会議で企画員同士が集まる機会も増えました。そんな学友と会話を重ねるうちに、自らの学び方が早急過ぎるのだろうか和内省し、ゆとりを持ちながら、基本を大切に学んでいこうという気持ちになりました。

学びとは、山登りに似ていると思います。決して楽しいだけのものではありません。学習や他の活動との時間配分などを考えながら、歩かなければなりません。無理を重ねれば、辛くなります。学友と基本の歩き方やペースを語らい、自己の力量に合う山に、出来れば気の合った同行者と登ることができれば、きっと楽しい山登りになるのではと思います。登るうちに“変化する学習の景色”も味わえることでしょう。

単位認定試験で文京キャンパスを訪れた折に、学友と「どうだった？」と話せるだけでも、気持ちが軽くなるのでは。気の合う友が出来れば良いな！くらいの気持ちで「クラス会」にご参加ください。待っています。

（自然と環境コース 片野 様）

クラス会のご案内



参加者募集中

子育てしながら、知識を増やしたい！



生涯楽しく勉強を続けたい！



心理学の資格を効率よく取りたい！



何が何でも卒業したい！



クラス会の開催につきましては、東京文京学習センターのホームページ上に掲示を載せ、メールにてもご案内を差し上げます。

メールお問合せ：bunkyo_soumu@ouj.ac.jp